

予算のは・な・し（その2）

～ 予算ってどうやって作るの？ ～



★予算の作り方や決め方ってどうやるの？

市役所には様々な部署があり、それぞれが皆さんの生活に密着した業務を行っています。収入や支出に関するもの全ては、予算という目に見える形で作成しなければなりません。いいかえれば、予算にないものは原則事業を行うことができません。

<9月～11月>

予算案を作るために、まず市長が基本的な考え方をまとめた**予算編成方針**を定めます。

その方針に沿って、各部署では1年間でどのような内容の事業を実施するのかといった「向こう1年間の行政サービス」を検討し、何にどのくらい費用が必要なのか積み上げたものを作成（予算要求）していきます。



予算編成方針って？

公式 HP トップ>市政>予算>[予算編成方針](#)



<11月～2月>

それぞれが作成した予算要求書や資料をもとに、財政担当部局や市長が本当に必要な事業なのか、税金等の計画的な使い方になっているのかの聞き取りなどを行っていきます。市長は、提出された各部署の予算要求をもとに自分の考えに沿って予算案をまとめ、市議会に提案します。



<2月～3月>

市民の皆さんの代表である市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議し、最終的に市議会の議決により予算を決めることになります。

★足りなかったり、余ったり・・・予算は変更できるの？

予期していなかった急な出費があった場合、皆さんならどうしますか？

たとえば・・・



大牟田太郎さんは、6月から始めた毎月2万円ずつの積立と冬のボーナスで、12月にテレビを購入する計画をたてています。

ところが、10月に怪我をして入院することになってしまい、突然の入院で、予定していたお金の半分は治療費に消えてしまいました。

退院後、太郎さんは購入するかどうか悩みましたが、不足分については貯金を取り崩し、積立金とボーナスとあわせて購入することに決めました。

大牟田家のお財布（予算）についてみてみると、太郎さんの突然の入院（支出の増）と、貯金の取り崩しによるお金の補てん（収入の増）が発生しています。このように、貯金を取り崩して支払にあてたり、計画していた支出をやめたり、ローンを組んだり・・・とそれぞれ個人ごとに支払の計画を見直しています。

同じように市の予算も見直しをして、きちんとした使い方が出来るようになります。それが補正予算です。

年度途中で台風や大雨、地震などによる災害が発生したり、国の制度改正があったりして予測のつかなかった支払が発生する場合には、市長が最初に作成した予算（当初予算）を変更する予算を作成し、最初の予算と同じような手順を経て、市議会へ提案し、議決により決定します。大牟田市では、議会の定例会にあわせ6月、9月、12月、2月の4回補正予算を作成していますが、臨時的にその他の月に補正予算を作成することもあります。

補正予算説明書は[こちら](#)から。



★借金する（起債）のはなぜ？ちゃんと返しているの？

大牟田市はもちろん全国の自治体では、収入と支出のバランスを考えながら公共サービスを提供していますが、学校や市営住宅などの公共施設を建設したり公園などの工事をしたりするには、たくさんのお金が必要となります。また、学校や市営住宅、公園などは一時的な利用ではなく長い年月利用されていくものであることから、建設や工事に年に住んでいる市民の皆さんの税金だけで支払うのではなく、将来利用する市民の皆さんにも公平に負担を求め長期間に亘って支払っていくために市債という借金をしています。

■例えば■

〇〇小学校を22年度に建設し、建設にかかった費用が6億円だったとします。

費用のうち国からの補助金が3億円あるとすれば市が負担する金額は残りの3億円ということになります。

この3億円を一度に22年度中に納めていただいた税金だけで支払うのではなく、建設をした22年度に借金をして一旦3億円全額を支払い、その後20年という期間をかけて、各年度に納めていただいた税金で借金を返済していきます。

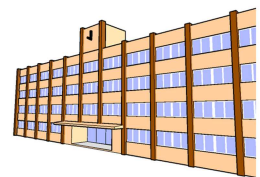
いわゆる住宅ローンのようなイメージです。

借金はいつかは返済しなければならないもの・・・何でもかんでも借金していたら、家計は火の車になります。

そうならないためにも借金できるものが限られています。

<借金できるもの>

- ①災害復旧事業
- ②学校、消防施設、道路、河川などの公共施設等建設事業 など



大牟田市では、毎年借金を返済しながらも新しい事業のために借金をしています。しかし、むやみやたらと借金しているのではなく、市債残高が多いこともあり借金返済額の2/3程度を目途とした計画を立てています。

借金は毎年返済が決まっており、返済額が増えれば、限られた予算の中で使えるお金が少なくなってしまいます。効果的に事業を行うためにも、「なるべく借金は増やさない」よう計画どおりに実行していくことがとても重要です。

★予算を使ったあとは？

入ってくる予定のお金とそのお金の使い道が予算で、その予算を使った結果を決算といいます。決算では、1年間の収入と支出（どれだけの行政サービスを行ったか）の結果を表しています。市長はその年度の収支結果をまとめた決算書を、予算のときと同じように市議会へ報告し、認定を受けることになります。